

琴浦町 **総合部門全国第2位**受賞!!

宝島社「2025年版 第13回住みたい田舎ベストランキング」
中国エリア《若者世代・単身者部門》 第1位受賞!!

概要

宝島社「田舎暮らしの本」2025年2月号(2025年1月4日発売)に掲載のランキング。

「魅力的な移住先」を探るべく、全国の市町村を対象に、編集部独自のアンケートを実施。人口規模、世代、エリアなどの切り口でランキングを集計し、多くの市町村の魅力を伝えるもの。

琴浦町は「人口1万人以上3万人未満のまち」において**総合部門全国第2位**を受賞。

また、エリア別（中国エリア）のランキングにおいては、若者世代・単身者部門で**第1位**を受賞。

それぞれのランキングの中でも各部門で上位にランクイン。

内容

全国547市町村が参加。人口別にグループに分けて「人口1万人以上3万人未満のまち（154自治体）」の各部門ランキングを発表！（別添資料参照）

《総合部門》	全国第2位
《若者世代・単身者部門》	全国第3位
《子育て世代部門》	全国第4位
《シニア世代部門》	全国第7位

併せて市町村の規模関係なく、エリア別のランキングも発表！

中国エリア(参加自治体56)の中でも各部門で上位にランクイン。（別添資料参照）

《総合部門》	中国エリア第4位
《若者世代・単身者部門》	中国エリア 第1位
《子育て世代部門》	中国エリア第3位
《シニア世代部門》	中国エリア第6位



琴浦町の評価内容

■住民サークル「ポレポレな暮らし」をはじめ、行政だけでなく官民一体となって移住者を手厚く支援している点。県外から町への移住人口はコロナ禍前後で約70%（令和2年度と令和5年度を比較）増加し、移住者層も若者・子育て世帯のIターンが大幅な増加傾向である。。

【本件に関するお問い合わせ】

〒689-2392 鳥取県東伯郡琴浦町大字徳万 591-2 琴浦町役場企画政策課 TEL0858-52-1708 担当：西村

『田舎暮らしの本』が発表！

※情報解禁は2025年1月4日(土)午前0時
(2025年1月3日(金)24時以降)にお願いいたします。

2025年版 第13回「住みたい田舎ベストランキング」

初の移住者増の人気地ベスト100を発表

1位は茨城県境町

小中学生をホームステイでホノルル市に派遣！
先進的な英語教育で帰国家族からも人気。『田舎暮らしの本』2025年2月号
2025年1月4日(土)発売
特別定価：990円(税込)全国547市町村のアンケートをもとに集計
〈第13回「住みたい田舎ベストランキング」TOPICS〉

- 初めて「移住者増の人気地ベスト100」を発表！
1位 茨城県境町 2位 山梨県丹波山村 3位 長野県栄村
※人口1万人以上3万人未満
- 大分県豊後高田市が5年連続全部門1位を獲得&13年連続ベスト3入り
※人口10万人以上20万人未満
- 愛媛県今治市は3年連続全部門1位を獲得

ファッション雑誌販売部数トップシェア(※)の株式会社宝島社(本社:東京都千代田区)が発行する月刊誌『田舎暮らしの本』は、2025年1月4日(土)発売の2月号で、「2025年版 第13回 住みたい田舎ベストランキング」を発表します。

「住みたい田舎ベストランキング」は、“日本で唯一”の田舎暮らしを紹介する月刊誌『田舎暮らしの本』が2013年2月号より毎年実施しているランキングで、今回で13回目を迎えました。移住定住の促進に積極的な市町村を対象に、移住支援策、医療、子育て、自然環境、就労支援、移住者数などを含む314項目のアンケートを実施。547の市町村の回答を、田舎暮らしの魅力を数値化し、ランキング形式で紹介しています。今年は人口区分を、5000人未満のまち／5000人以上1万人未満のまち／1万人以上3万人未満のまち／3万人以上5万人未満のまち／5万人以上10万人未満のまち／10万人以上20万人未満のまち／20万人以上のまちの7グループに分け、全世代対象の【総合部門】のほか、【若者世代・単身者部門】【子育て世代部門】【シニア世代部門】の全4部門でランキングを発表しています。

また今年初めて発表した「移住者増の人気地ベスト100」では、ここ1、2年の移住者数や人口の増減などを数値化し、上位100位まで掲載。1位となった茨城県境町では、年間で155人の人口増を実現。公教育での英語教育は5歳からスタートし、小中学生をホームステイでホノルル市に派遣するなど、子育て世代を中心に人気を集め、定住促進住宅は倍率が10倍超となり、帰国家族からも移住希望がくるほどに。

そのほか「人口1万人以上3万人未満のまち」では大分県豊後高田市が5年連続全部門1位を獲得し、13年連続ベスト3入りを果たし、「人口10万人以上20万人未満のまち」では愛媛県今治市が、3年連続で4部門すべての1位を獲得。また、「人口5000人未満のまち」では福島県浪江町が2年連続で総合部門1位、「人口20万人以上のまち」では山口県下関市が総合部門、子育て世代部門、シニア世代部門の3部門で1位を獲得しました。

ランキング情報の提供や編集長の取材も可能ですので、ぜひお問い合わせください。

※日本ABC協会 雑誌発行社レポート 2024年上半期(1～6月)より

※本ランキング情報掲載時は、

宝島社『田舎暮らしの本』2月号「2025年版 第13回 住みたい田舎ベストランキング」と必ずご明記ください。

◆『田舎暮らしの本』

1987年に創刊した“日本で唯一”の田舎暮らしを紹介する月刊誌です。全国各地の物件や仕事の情報など、田舎暮らしに必要なハウツーを紹介。実際の移住者レポートを交え、田舎暮らしに役立つ具体的な情報を発信しています。「住みたい田舎ベストランキング」は2013年2月号から発表。

移住・趣味・物件・・・
田舎暮らしのお役立ち情報を発信「田舎暮らしの本Web」もチェック！
<https://inakagurashiweb.com>

2024年9月より、『田舎暮らしの本』編集長に就任した生川です。ご協力いただきました、547の自治体の方々に感謝いたします。第13回となる今回は、人口別のランキングに加え「移住者増の人気地 ベスト100」というパートを設け、「住みたい田舎」選びに新たな視点を加えました。時代とともに移住希望者や地域のニーズが急速に変化しています。本誌とWebサイトで、素敵な田舎暮らしを求める読者と自治体をマッチングさせるべく、さらに役立つ情報を発信してまいります。

『田舎暮らしの本』編集長
生川 貴久 (なるかわ・たかひさ)

ランキングは次頁以降に掲載

★新ランキング「移住者増の人気地ベスト100」トップ10

- 第1位** 茨城県境町
- 第3位** 長野県栄村
- 第7位** 長野県上松町
- 第2位** 山梨県丹波山村
- 第4位** 大分県由布市
- 第8位** 熊本県西原村
- 第5位** 大分県豊後高田市
- 第9位** 長崎県小値賀町
- 第6位** 奈良県下北山村
- 第10位** 長野県佐久市

茨城県境町の魅力

- 25年間住み続けると無償譲渡される新築の賃貸住宅、最大36万円の家賃補助など子育て新婚世帯への住宅支援が充実
- 町立の小中学校・保育園での先進的な英語教育。英検保有率は小学6年生で5級75.5%、中学3年生で3級52.2%を誇る
- 保育施設・小中学校の給食費無料、第2子以降保育料無料、20歳の学生まで医療費無料など充実した子育て支援

はしもと まさひろ

境町長 橋本正裕氏コメント

子育て支援日本一を目指す境町に「英語移住」しませんか

茨城県境町は、子育て支援・教育・住居・雇用をセットで考え移住政策を行ってきました。その結果として直近8年間で561名の社会増となり、今年度は大変ありがたいことに7年ぶりに人口増となる見込みです。まちを元気にして次世代に繋げるためには、“子どもが育つまち”であることが重要です。今後も、妊娠・出産・子育てが安心してできる環境づくりに力を入れていきたいと思っております。

小中学生をホームステイでホノルル市に派遣！



25年連続したら無償譲渡のマハロタウン！



山梨県丹波山村の魅力

- 地域おこし協力隊や大人の山村留学などで若い世代が増加。そのつながりで遊びに訪れる関係人口も増えている
- 大自然のなか、少人数制のクラスでのびのび学べる「親子山村留学」。30年以上続けていて、多くの親子が参加
- 丹波山村移住定住推進協議会が移住をサポート。移住希望者向け見学会などを実施

きのした よしひと

丹波山村長 木下 喜人氏コメント

「住みたい田舎」を目指し環境づくりに取り組む

2024年に初めて「住みたい田舎ベストランキング」総合部門1位に選出され、その反響はとて大きく、「住みたい村No.1の丹波山村」と、さまざまところで紹介していただきました。これを糧に1年間取り組んできたことが今回も評価され、大変光栄です。地域おこし協力隊をはじめ、昨年も多くの方が丹波山村に移り住んでくれました。今後も「住みたい田舎」になれるような環境づくりに取り組んでいきます。

「大人の山村留学事業」の一環で実施した「TURNS LOCAL COLLEGE.」



地域おこし協力隊の企画で休日に行った地域での農作業体験



★人口5000人未満のまち

総合部門

- 第1位** 福島県浪江町
- 第2位 北海道沼田町
- 第3位 山梨県丹波山村

若者世代・単身者部門

- 第1位** 山梨県丹波山村
- 第2位 福島県浪江町
- 第3位 北海道沼田町

子育て世代部門

- 第1位** 島根県飯南町
- 第2位 山口県阿武町
- 第3位 北海道沼田町

シニア世代部門

- 第1位** 北海道沼田町
- 第2位 島根県飯南町
- 第3位 山口県阿武町

福島県浪江町の魅力

- 太平洋岸にあるため、気候温暖で暮らしやすい。請戸漁港の海の幸が豊富で、若者からシニアまで人気が高い
- 2024年10月末日時点で79人と移住者が多く、誘致企業への就職、飲食店の起業など仕事の環境が整っている
- 水素の地産地消、浪江駅周辺の再開発事業、福島国際研究教育機構の立地など、新しいまちづくりに挑戦している

なみえまち
浪江町長
よしだ えいこう
吉田 栄光氏
コメント

あなたのリスタートをまち一丸で応援します！

2年連続、総合部門1位の評価をいただき感謝しております。浪江町は東日本大震災や原発事故から復興に向け、多くの課題にまち一丸となって取り組んでおります。当町は、モンドセレクション金賞受賞した「なみえウォーター」やB-1グランプリで金賞受賞した「なみえ焼そば」など多くのおいしいものがあるほか、町民と移住者の方が一緒になってまちの賑わいをつくっております。ぜひ、一度お越しください。

島根県飯南町の魅力

- 住宅支援制度が充実。住宅の建築や町産材の利用などの項目を組み合わせると、最大410万円の補助が受けられる
- 町の振興作物であるトマトやパプリカの生産を中心とした施設野菜での自営就農を目指す人に農業研修制度がある
- 森林セラピー®やシャワークライミング、スキーなど、自然のなかでアクティビティが楽しめる

北海道沼田町の魅力

- 滑りやすくリーズナブルと評判のスキー場「ASHIMOI KANKO高穂スキー場」へ車で約5分
- 「生涯活躍のまち」をモットーに、ボランティアなどシニアが活躍できる場が多い
- 免許を返納しても、ドア・ツー・ドアのタクシーや町営バスなどを利用してレジャーが楽しめる

幅広い世代が住みやすいまちへ

「子どもたちの声が聞こえるまちづくり」を目指し、子育てしやすい環境づくりに取り組んできました。子育て世代向け住宅の整備や保育料完全無償化、高校生までの医療費無料化などに加えて、子ども広場の整備や病後児保育など、今後も子育てしやすい環境づくりを進めていきます。また、地域包括医療ケアにも取り組んでおり、幅広い世代が住みやすいまちを目指していきます。

いいなんちょう
飯南町長
つかはら たかあき
塚原 隆昭氏
コメント

ぬまたちよう
沼田町長
よこやま しげる
横山 茂氏
コメント

地域のよさを最大限に活用新しい挑戦を続けるまち

魅力いっぱいの過疎のまち、沼田町では、現在20名の地域おこし協力隊員の皆さんとともにさまざまな挑戦を進めています！ 特に、今年春には日本初（？）の公設民営型「クラフトビール醸造所」がオープンします。日本一おいしい！と自負するビールや特産品のトマトケチャップなどを活用した食を絡め、トマトにこだわった「NUMATA TOMATO TOWN」を目指し、来訪者の皆さんがワクワクするような「活気と勇気と元気」がみなぎるまちづくりを進めています。まずは「ちょっと暮らし」で本町をのぞいてみませんか！

★人口5000人以上1万人未満のまち

総合部門

- 第1位 長野県松川村**
 第2位 長野県宮田村
 第3位 長野県木曾町

若者世代・単身者部門

- 第1位 長野県木曾町**
 第2位 群馬県嬬恋村
 第3位 長野県宮田村

子育て世代部門

- 第1位 長野県木曾町**
 第2位 長野県宮田村
 第3位 新潟県阿賀町

シニア世代部門

- 第1位 長野県木曾町**
 第2位 北海道美瑛町
 第3位 長野県松川村

長野県松川村の魅力

- 美しい田園風景のなかにありながら、コンビニやスーパー、病院などの施設が整い、豊かな自然と利便性のバランスがいい
- 子育ての相談窓口をはじめ、各種支援制度や補助金など子育て支援体制が充実
- 松本市や白馬村まで車で40分で行けるほか、国道やJR 大糸線の駅が3駅もあるなど、交通アクセスが良好

長野県木曾町の魅力

- 「木曾五木」に触れ親しむことができる「木曾おもちゃ美術館」が親子連れに大人気
- 地元の木工職人が地元の木材でつくった誕生祝い品を新生児に贈る「ウッドスタート宣言」
- 「発酵食品振興条例」を制定し、「すんき」など地域色豊かな発酵食品文化を推進している

全国183村のなかで「最も住みよく、暮らしやすい村」を目指して

松川村は、田園・屋敷林・有明山が織り成す美しい安曇野の原風景が残る自然豊かな村です。雄大な北アルプスの天然水と肥沃な大地で育んだお米はもちろん、シャキシャキのリンゴは村の自慢です。子育て支援、移住定住の促進に取り組んでいるなかでのこの栄誉は、これまでの成果を認めていただいただけでなく、さらなる目標達成への大きな推進力となりました。心より感謝申し上げます。

まつかわむら

松川村長
 すざわ かずひこ
須沢 和彦氏
 コメント

子育て環境が充実！自然・歴史・文化が共存するまち

木曾町は霊峰「御嶽山」に抱かれた大自然と江戸時代の街道文化が共存するまちです。木曾ヒノキの林業文化が息づき、「おもちゃ美術館」もあります。3歳以上の保育料や高校卒業時までの医療費無償化など子育て環境も整い、近年は起業希望者も増加。本州唯一の在来馬である木曾馬や発酵食品文化など、多彩な魅力あふれる木曾町へぜひお越しください。

きそまち

木曾町長
 はら くにお
原 久仁男氏
 コメント

★人口1万人以上3万人未満のまち

総合部門

- 第1位 大分県豊後高田市**
 第2位 鳥取県琴浦町
 第3位 兵庫県朝来市

若者世代・単身者部門

- 第1位 大分県豊後高田市**
 第2位 茨城県境町
 第3位 鳥取県琴浦町

子育て世代部門

- 第1位 大分県豊後高田市**
 第2位 茨城県境町
 第3位 岐阜県飛騨市

シニア世代部門

- 第1位 大分県豊後高田市**
 第2位 大分県杵築市
 第3位 兵庫県朝来市

大分県豊後高田市の魅力

- ライフスタイルやライフステージに応じて活用できる移住・定住施策は、全186項目におよぶ
- 高校生までの医療費、中学生までの給食費、保育料・幼稚園授業料を無料化。高校生の給食費も無料化予定
- 泉質の異なる6カ所の温泉や、シニアカー購入・レンタル費用補助など、シニアも住みよい環境づくり

ふんごたかし

豊後高田市長
 ささき としお
佐々木 敏夫氏
 コメント

まちの未来への投資を今後も続けてまいります

2025年4月から、市内唯一の高校である高田高校の生徒に無料で昼食を提供する準備を進めています。これが達成できると、0歳から高校生までの「医療費、授業料、給食費」が完全無料化となります。子育て支援は未来への投資。人口増を目指してこれからもスピード感を持って取り組んでまいります。ぜひ本市へお越しいただき、まちの魅力を感じていただければ幸いです。

住民も観光客も楽しめる

地域資源が豊富



長崎鼻リゾートキャンプ場は、菜の花やひまわりなど季節の花の名所としても人気。



「日本の夕陽百選」選定の真玉海岸。夕暮れと干潮が重なると美しい縞模様が現れる。

一步先を行く施策を
 積み重ね
 5年連続で
 全部門1位を達成！

★人口3万人以上5万人未満のまち

総合部門

- 第1位 岐阜県恵那市**
第2位 島根県雲南市
第3位 山口県萩市

若者世代・単身者部門

- 第1位 島根県雲南市**
第2位 山口県萩市
第3位 長崎県五島市

子育て世代部門

- 第1位 岐阜県恵那市**
第2位 長崎県五島市
第3位 熊本県菊池市

シニア世代部門

- 第1位 鳥取県倉吉市**
第2位 大分県臼杵市
第3位 長崎県五島市

岐阜県恵那市の魅力

- 移住支援担当者や移住定住サポーターによるフォローが手厚い。2022年から子育て支援を年々充実させている
- 「ラリージャパン」が恵那市内で開催されるなど、地域資源を生かした取り組みで関係人口の拡大につなげている
- 恵那市の将来を担う人材育成を見据えた「恵那未来キャンパス構想」の一環としてインターネット大学などとの連携を推進

島根県雲南市の魅力

- 「日本一チャレンジしやすいまち」として若者を支援。新たに起業型の地域おこし協力隊も始動させた
- 40歳未満の子育て世代を手厚く支援。宅地購入の補助金など、暮らしにまつわる支援がきめ細か
- 「フォレストアドベンチャー・たたらの里」がある吉田町など歴史と自然を感じられる場所が多数

鳥取県倉吉市の魅力

- 鳥取県の中央に位置し、県内のどこへも移動がしやすい。空港も、鳥取砂丘コナン空港、米子鬼太郎空港の2つが利用できる
- まちなかはスーパー、病院、役所などがまとまっていて暮らしやすく、周囲は里山風景が広がり、都会暮らしも田舎暮らしも楽しめる
- 2025年3月には鳥取県立美術館がオープン。歴史、文化、自然と多様な環境でさまざまな体験ができる

子育て世代に優しいまち。お気軽にお問い合わせを

2年連続で評価いただき、ありがとうございます。恵那市の子育て支援策は、「経済的負担への支援」「寄り添う支援」「子育て環境支援」の3本の柱を掲げ、出産前から高校を卒業するまでステージごとに手厚い支援を行っています。移住に関する疑問などは、恵那市に移住してきた方もスタッフに含まれる「移住定住サポーター」がきめ細かくサポートしますので、お気軽にお問い合わせください。

えなし

恵那市長

こさか たかね
小坂 高峰氏
コメント

うんなんし

雲南市長

いしどひ あつし
石飛 厚志氏
コメント

日本一チャレンジに優しく、人の輪が広がる

雲南市では移住専門スタッフを配置しており、移住された方々から、移住前後のきめ細かなサポートが充実していると好評をいただいています。人が人を呼ぶ「移住の連鎖」が生まれ、地域おこし協力隊、学生インターンなど、着実に人のつながりが広がっています。また、空き家を活用したコワーキング施設など、働きやすい環境づくりにも取り組み、地域一体となってチャレンジを応援しています。子育てや若者の挑戦に優しい、ちょうどいい田舎の雲南市にぜひお越しください。

“暮らしよし”のまち倉吉にお越しください

このたびは「シニア世代部門」1位という評価をいただき、感謝申し上げます。本市は鳥取県の中部に位置し、市名の由来は「暮らしよし」であるともいわれており、市街地は山・海・温泉に囲まれ、「田舎のよさ」と、「まちの便利さ」が融合した「ほどよく便利なまち」です。子育て環境も充実しており、子どもからシニア世代まで暮らしやすいまちです。「暮らしよし」のまち倉吉にぜひお越しください。

くらよし

倉吉市長

ひろた かずやす
広田 一恭氏
コメント

★人口5万人以上10万人未満のまち

総合部門

- 第1位 大分県宇佐市**
第2位 福島県南相馬市
第3位 長野県飯田市

若者世代・単身者部門

- 第1位 長野県飯田市**
第2位 福島県南相馬市
第3位 大分県宇佐市

子育て世代部門

- 第1位 大分県宇佐市**
第2位 長野県飯田市
第3位 福島県南相馬市

シニア世代部門

- 第1位 大分県宇佐市**
第2位 宮城県栗原市
第3位 大分県日田市

大分県宇佐市の魅力

- 創建1300年を迎える宇佐神宮、棚田百選や日本の滝百選、グリーンツーリズムをはじめ、多面的な魅力が揃う
- 男性の育児休業取得促進奨励金、小・中・高校入学時の祝い金、シニア向け運動教室など、世代ごとの支援を実施
- 移住者を対象とした定住促進用住宅地の無償貸し付け、および無償譲渡の制度が2024年にスタート

長野県飯田市の魅力

- 女性を対象に、自営型テレワークやスモール起業など、さまざまな働き方を学ぶ講座を実施
- 市内の公立保育園の全園が信州やまほいく（信州型自然保育）認定園。お試し入園も可能
- 干し柿の最高級ブランド「市田柿」の産地。新規就農を目指す若い移住者も多い

うさし

宇佐市長

これなが しゅうじ
是永 修治氏
コメント

目標は定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち

美しい自然と地域の温かい人びとが魅力の宇佐市。医療施設や公共交通機関も充実しています。これまで「定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち」を目標に掲げ、幅広い施策を展開。子どもからシニアまで各世代においての切れ目のない支援策が実を結んできました。特に2025年は宇佐神宮が御鎮座1300年を迎え、各種イベントが目白押しです。ぜひUSA(うさ)市へお越しください。

いいたし

飯田市長

さとう たけし
佐藤 健氏
コメント

「環境」を軸とした取り組みで「日本一住みたいまち」へ！

南アルプスを望む優れた景観と豊かな自然に恵まれた飯田市。太陽光発電も盛んで「環境文化都市」を標榜しています。地域に眠る多彩な地域資源を活かし、起業を含めた多様な働き方・暮らし方を全力でサポートします。地域の皆さんと一緒に、若い皆さんが安心して「ここで働きたい！」「ここで子育てしたい！」と思える地域を目指します。

★人口10万人以上20万人未満のまち

総合部門

第1位 **愛媛県今治市**
第2位 愛媛県西条市
第3位 山口県山口市

愛媛県今治市の魅力

- 瀬戸内海の美しい島々や世界的な海事都市などさまざまな顔を持つ。観光業、農業、工業など、多様な仕事のチャンスあり
- 交通の便がいい。「しまなみ海道」により、架橋の島々や本州との行き来が車で可能。最先端のモビリティも運行中
- 子育て支援が充実。今治版ネウボラのほか、子どもの発達に合わせた公園づくりや、二拠点教育が可能なデュアルスクールも

若者世代・単身者部門

第1位 **愛媛県今治市**
第2位 愛媛県西条市
第3位 岩手県一関市

子育て世代部門

第1位 **愛媛県今治市**
第2位 愛媛県西条市
第3位 岩手県一関市

シニア世代部門

第1位 **愛媛県今治市**
第2位 愛媛県西条市
第3位 栃木県栃木市

懐深い多様性で
3年連続4冠！

世界的名所の島々や
海事都市で多様な暮らしが
実現できる

「市民が真ん中」のまちづくりが育む『今治時間』

3年連続すべての部門で1位のご評価をいただき、大変光栄です。今治市は、瀬戸内の温暖な気候のもと、美しい風景、おいしい食べ物や多彩な観光資源に囲まれて、自分なりの時間『今治時間』を過ごせる場所です。今治タオルや造船、海運業など雇用も安定しています。きめ細かな伴走型の移住定住支援もさらに充実させていますので、ぜひ今治にお越しください。

いまぼりし

今治市長

とくなが しげき

徳永 繁樹氏

コメント

★人口20万人以上のまち

総合部門

第1位 **山口県下関市**
第2位 愛媛県松山市
第3位 秋田県秋田市

山口県下関市の魅力

- 飛行機や鉄道、バス、船と交通網が発達しており、まちなかでは車がなくても快適に生活できる
- 地域子育て支援拠点（こどもはらっぱ）の強化、子ども医療費助成、子育て支援タクシーアプリの提供など育児支援も手厚い
- 空き物件を活用して起業したい人向けに補助制度がある

若者世代・単身者部門

第1位 **秋田県秋田市**
第2位 山口県下関市
第3位 静岡県静岡市

子育て世代部門

第1位 **山口県下関市**
第2位 秋田県秋田市
第3位 栃木県宇都宮市

秋田県秋田市の魅力

- 中心市街地はあきた芸術劇場ミルハスや秋田市文化創造館など暮らしを豊かにしてくれる文化施設が充実
- ITや再生可能エネルギー関連の新規誘致企業が増加中。無料の創業相談窓口などの起業のサポート体制も
- 商業施設や医療機関、福祉施設など都市機能と自然の調和がとれた県都

シニア世代部門

第1位 **山口県下関市**
第2位 大分県大分市
第3位 秋田県秋田市

活躍できる環境づくりと子育てしやすいまちづくりを目指す

今回、総合部門、シニア世代部門、子育て世代部門の3部門で1位のご評価をいただき大変光栄です。なかでも、子育て世代部門で1位をいただいたことに喜びを感じております。本市は子育て支援を最重要施策と位置付け、経済的支援やサポート体制などきめ細かな支援をしています。すべての世代の人びとが活躍し、安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

しものせきし

下関市長

まえだ しんたろう

前田 晋太郎氏

コメント

挑戦する人を応援！ 新たな可能性が生まれています

秋田市ではさまざまな夢を持つ若者が集い、短編映画制作をはじめ、「文化創造プロジェクト」や子育て世帯マルシェなどなどに挑戦し、新たなまちの可能性や人の流れが生まれています。秋田市は挑戦する人を応援し、若者や子育て世帯向けの支援制度も充実しています。これから生きる、若者世代のみなさまをお待ちしています。

あきたし

秋田市長

ほづみ もとむ

穂積 志氏

コメント

2025年版
第13回

住みたい田舎 ベストランキング

人口 1万人以上3万人未満の まちランキング 回答自治体154

4部門ランキング発表!

※アンケート項目、点数の出し方はP28~31をご覧ください。
※順位は点数順です。ここでは小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

シニア世代 部門

1位	大分県 豊後高田市	40.53点
2位	大分県 杵築市	37.88点
3位	兵庫県 朝来市	37.79点
4位	長野県 飯山市	37.05点
5位	兵庫県 相生市	36.96点
6位	岐阜県 飛騨市	36.19点
7位	鳥取県 琴浦町	36.10点
8位	千葉県 多古町	35.72点
9位	岡山県 高梁市	35.54点
10位	茨城県 境町	35.21点
11位	兵庫県 養父市	35.07点
12位	長野県 大町市	34.37点
13位	奈良県 宇陀市	32.82点
14位	長野県 飯綱町	32.66点
15位	高知県 安芸市	32.58点
16位	長野県 御代田町	32.41点
17位	大分県 竹田市	32.12点
18位	高知県 四万十町	32.03点
19位	山形県 尾花沢市	31.99点
20位	宮崎県 えびの市	31.78点

子育て世代 部門

1位	大分県 豊後高田市	96.42点
2位	茨城県 境町	83.79点
3位	岐阜県 飛騨市	75.79点
4位	鳥取県 琴浦町	75.69点
5位	兵庫県 養父市	73.70点
6位	長野県 飯山市	71.18点
7位	大分県 杵築市	67.71点
8位	兵庫県 相生市	66.67点
9位	山形県 村山市	66.23点
10位	岡山県 高梁市	65.14点
11位	千葉県 多古町	64.83点
12位	兵庫県 朝来市	64.52点
13位	鳥取県 北栄町	64.26点
14位	山形県 尾花沢市	62.19点
15位	大分県 国東市	62.13点
16位	岡山県 吉備中央町	61.81点
17位	福井県 大野市	61.66点
18位	秋田県 北秋田市	61.42点
19位	長野県 松川町	61.24点
20位	鹿児島県 西之表市	61.16点

若者世代・単身者 部門

1位	大分県 豊後高田市	53.99点
2位	茨城県 境町	48.42点
3位	鳥取県 琴浦町	48.05点
4位	岐阜県 飛騨市	45.35点
5位	兵庫県 養父市	44.33点
6位	秋田県 にかほ市	40.51点
7位	兵庫県 朝来市	39.83点
8位	大分県 国東市	39.48点
9位	長野県 飯山市	39.36点
10位	高知県 四万十町	37.20点
11位	大分県 杵築市	37.18点
12位	福岡県 豊前市	36.90点
13位	鳥取県 北栄町	36.40点
14位	高知県 室戸市	34.65点
15位	岡山県 新見市	33.83点
16位	長野県 辰野町	33.29点
17位	岩手県 陸前高田市	33.02点
18位	秋田県 鹿角市	32.73点
19位	兵庫県 香美町	32.35点
20位	山形県 村山市	32.32点

総合 部門

1位	大分県 豊後高田市	134.75点
2位	鳥取県 琴浦町	112.77点
3位	兵庫県 朝来市	111.92点
4位	長野県 飯山市	109.50点
5位	秋田県 にかほ市	108.21点
6位	長野県 大町市	106.65点
7位	大分県 杵築市	106.59点
8位	茨城県 境町	106.10点
9位	京都府 南丹市	105.81点
10位	岐阜県 飛騨市	105.25点
11位	岡山県 高梁市	105.02点
12位	兵庫県 養父市	104.37点
13位	大分県 国東市	101.39点
14位	鳥取県 湯梨浜町	99.97点
15位	山形県 遊佐町	99.45点
16位	奈良県 宇陀市	98.66点
17位	山形県 尾花沢市	98.22点
18位	鳥取県 北栄町	97.17点
19位	大分県 竹田市	97.12点
20位	高知県 四万十町	97.04点

傾向と 分析

最激戦グループで豊後高田市が全部門1位をキープ

回答自治体数は154と飛び抜けて多い。平成の大合併が影響しているとはいえ、地方ではこのくらいの人口規模が標準になっているようだ。トップ10は東北から九州までバラツキがあり、全国に分散している傾向が見て取れる。総合部門1位は本ランキングで1位を継続してきた大分県豊後高田市で、移住・定住支援の充実ぶりは群を抜いている。2位の鳥取県琴浦町も上位を維持。官民一体となった手厚い移住支援が魅力だ。3位の兵庫県朝来市は体験住宅が充実しており、関西で田舎暮らしをしたい人たちに注目されている。

12エリア別
住みたい田舎ランキング

Area 9

参加自治体数56



中国エリア

Chugoku Area

シニア世代部門

1	鳥取県 倉吉市	38.04点
2	山口県 下関市	37.94点
3	山口県 宇部市	36.94点
4	岡山県 津山市	36.71点
5	島根県 雲南市	36.67点
6	鳥取県 琴浦町	36.10点
7	岡山県 高梁市	35.54点
8	島根県 安来市	35.26点
9	島根県 飯南町	34.59点
10	山口県 阿武町	34.11点

子育て世代部門

1	山口県 下関市	78.73点
2	島根県 雲南市	76.33点
3	鳥取県 琴浦町	75.69点
4	鳥取県 倉吉市	75.43点
5	島根県 飯南町	74.98点
6	山口県 阿武町	72.51点
7	山口県 宇部市	71.62点
8	山口県 萩市	69.52点
9	鳥取県 鳥取市	69.48点
10	岡山県 津山市	68.63点

若者世代・単身者部門

1	鳥取県 琴浦町	48.05点
2	山口県 下関市	48.03点
3	島根県 雲南市	47.42点
4	山口県 萩市	45.65点
5	山口県 山口市	42.84点
6	山口県 宇部市	41.88点
7	鳥取県 鳥取市	41.68点
8	山口県 阿武町	41.11点
9	岡山県 津山市	40.87点
10	鳥取県 倉吉市	38.27点

総合部門

1	山口県 下関市	116.43点
2	島根県 雲南市	115.58点
3	山口県 萩市	114.97点
4	鳥取県 琴浦町	112.77点
5	山口県 山口市	112.36点
6	鳥取県 倉吉市	111.04点
7	山口県 宇部市	106.02点
8	島根県 飯南町	105.70点
9	岡山県 高梁市	105.02点
10	広島県 三原市	103.11点

ここがPoint!

このエリアも、北陸エリアと同じように、全体的に点数が高く、移住定住に熱心な自治体が多いといえる。昨年に引き続き上位を占めているのが、山口県下関市、鳥取県琴浦町、島根県雲南市。今回、そこに割って入ってきたのが「シニア世代部門」1位の鳥取県倉吉市だ。新たに10位以内に入った岡山県高梁市も注目したい。

事業承継の 支援が多い自治体

※2024年度に移住者の事業承継を支援して
実現した件数

	事業承継の支援数(件)	
1	愛媛県 今治市	17
2	兵庫県 香美町	5
3	北海道 砂川市	4
3	大分県 杵築市	4
5	北海道 新ひだか町	3

ここがPoint!

日本企業の99%を占める中小企業は、雇用や技術の担い手として日本を支える重要な存在。しかし、後継者不在の状況が深刻で、行政の支援が求められている。1位の今治市は、その取り組みが全国でも突出して多い自治体だ。

Column

地方で事業承継をするときに利用できる補助金にはどういふものがあるのか?

経済産業省中小企業庁では中小企業の事業承継に対し、事業タイプ別に150万円～800万円を上限とする補助制度を設けている。予算編成で金額などが変化する場合もあるので、最新の情報をチェックしてほしい。

Unique Ranking 8

起業・開業の支援や事業承継

ここでは、仕事のなかでも起業・開業に関連した支援について取り上げた。また、事業を受け継ぐ事業承継の実績も見てみた。

起業・開業の 相談会やセミナーが多い自治体

※2024年度に起業・開業に関する相談会や
セミナーを開催(に出席)した回数
(オンライン開催および開催予定を含む)

	起業・開業の相談会数(回)	
1	熊本県 熊本市	350
2	静岡県 富士市	153
3	山口県 山陽小野田市	105
4	栃木県 宇都宮市	95
5	岡山県 岡山市	84
6	秋田県 秋田市	79
7	岡山県 津山市	53
8	静岡県 藤枝市	45
9	島根県 雲南市	40
9	岡山県 笠岡市	40

ここがPoint!

オンラインを含めた起業・開業の相談会やセミナーの回数をランキングしたもの。全国に分散しているが、県庁所在地が多いのが目をひく。回数の多い自治体を選べば、移住希望者の不安解消にもつながるはずだ。

起業・開業を 支援した数が多い自治体

※2024年度に移住者の起業・開業を支援した件数

	起業・開業を支援した件数(件)	
1	愛媛県 西条市	124
2	岐阜県 郡上市	102
3	宮崎県 都城市	38
4	福島県 南相馬市	35
5	愛媛県 今治市	32
6	北海道 釧路市	23
7	新潟県 新潟市	16
8	長野県 飯田市	15

ここがPoint!

地方で起業・開業を目指す移住者は各地で増えているが、成功するためにはスタートアップのノウハウを持った専門家のサポートが不可欠。15件以上と回答したのは全国で8市。こういう自治体の事例は参考になる。